



いよせき倶楽部

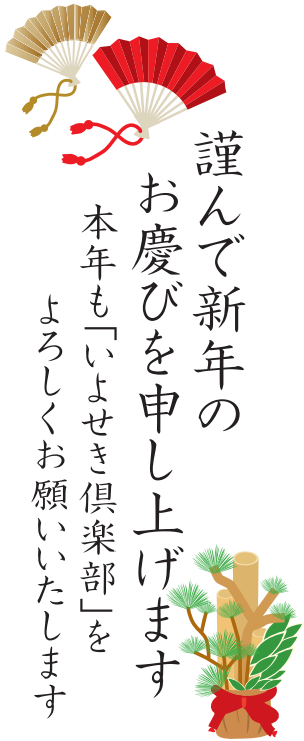
C&A
Communication & Answer



第218号

いよせき株式会社 〒793-0003 愛媛県西条市西ひうち3-21 Tel. 0897-55-1414 Fax. 0897-56-1454 E-mail: info@iyoseki.co.jp

謹んで新年のお慶びを申し上げます
 本年も「いよせき倶楽部」をよろしくお願いたします



石のこれから



■石材展示会

10月、11月と石材展示会がたくさんありました。それぞれ対象が一般のお客様だったり、業者限定のものでした。傾向として、毎年来場者数が減少しているというお声をききました。従来の墓製品だけでは新鮮味、期待感などに欠けるのかも知れません。みなさん色々ご苦労されて1人でも多くの方に来ていただく企画をされています。しかし、これからの石材業界も、少子化の影響は避けられません。そんな中での展示会は新たな切り口が求められているのかも知れません。

売上に繋がる製品作りそして工夫された展示方法が必要になってきていると感じます。
 [岩間由記夫]

新年 あけましておめでとうございませう。
 『正月』は、現在三が日を指しますが、本来は旧暦一月の別名です。習慣としては、かつて半年ごとに先祖を祀る行事でしたが、仏教による影響で、夏の盆を先祖供養の行事とし、正月は年神様を迎えて豊作を祈る神祭りとするようになりました。個人的にお墓参りを推進する私としては、かつて行われていたように、正月の(一ヶ月間)の月に、ご先祖に無事年を重ねられたご報告に参られてはと思うのですが、如何でしょうか。「永易啓子」



石の豆知識

『お墓まいり』

新製品

『亀ストラップ』



■かわいい亀のストラップです。縁起物ですので、付けているといいことがあるかも。
 [上野 翼]

石のこころ

『石筆』

石筆とは小さく切断された滑石(かっせき)で筆記具として用いられます。主な用途は建設現場や鉄工所・造船所などで鉄板やコンクリート面などに作業のための記号や指示を記入するために使います。

鉛筆が普及していなかった明治時代初期の小学校では、ノート代わりに石板を用い、石筆で書き取りを行いました。利用法はチョークと似ているが、描かれる線の色は白色のみです。子どもはこれで地面や塀などに落書きをしたり、石蹴りなどの遊びで使われる図形を描いたりしました。[折本隼太]



伊予青石物語



■坂村真民先生の力強い字で素敵な言葉を青石に彫ってもらって、会社創立記念にふさわしい碑石が出来ました。(佐賀S様)

[担当: 岩間由記夫]

さらに詳しい画像は当社ホームページへ →→→

「アートキャンパス・アートポートは従来と感覚が違う商品ですね、また保障が長いから安心です」(N左官様)

◆2013年の旧正月は2月10日です。中国加工のお急ぎの商品は、お早めに。
 [伊藤恵子]

Information お知らせ



藤部吉人氏と天野薫氏の二人展が、いよせきギャラリーにて開催されています。藤部氏は癌の宣告を受けて一年になりますが、最近は頗るお元気で制作活動にも力が入っています。魂のこもった作品を作りたいという熱い思いが、癌を吹き飛ばしてしまつたのでしょうか?地震を予知するオオナマズの力作を是非ご覧ください。しかし、まだまだ療養中ですので、お知り合いの天野さんの陶芸作品に手伝っていただきました。ギャラリーを飾っていただきました。すばらしい作品が数多く展示されていますので、是非二人展にお越し下さい。
 白木秀典



永遠の念い